

パラスポーツちば

Vol.10



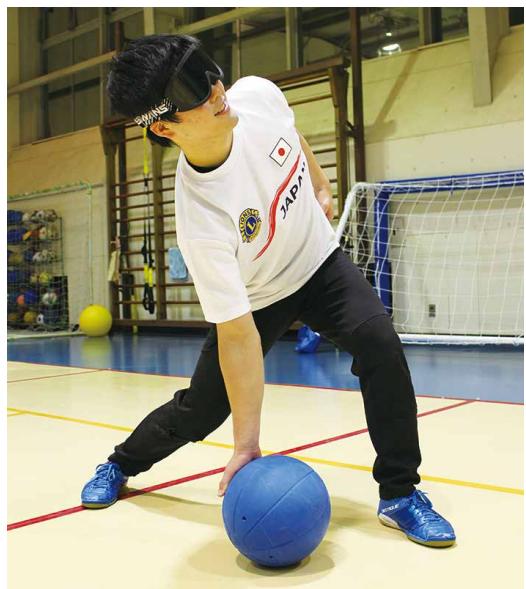
千葉県PRマスコットキャラクター
チーバくん
(千葉県許諾 第S089号)

TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMESに 多くの千葉県ゆかりの選手を！

パラリンピックを目指すアスリートたちは、乗り越えてきた苦難とプレッシャーを力に変えて、ライバルや自分自身と戦っています。彼らを支えることで得られる共感、高揚感、時に新たな希望は、他に代えがたい魅力です。県民の応援で、千葉県ゆかりのアスリートたちを、夢の舞台へ push up !

ゴールボール

東京2020パラリンピック競技大会 ゴールボール競技は
幕張メッセCホール(千葉市)で
2020年8月26日~9月4日に開催されます



千葉県強化指定選手 佐野 優人 選手

さの ゆうと
佐野 優人 選手

千葉県内の順天堂大学1年生。2000年埼玉県狭山市生まれ。
中学3年の時にレーベル病により視力を失う。

野球少年だった彼が、あれこれ試して見つけた楽しめるスポーツがこの競技。専用のアイシェードは光を通さず、装着すると真っ暗闇になる。方向感覚を奪われて恐怖心から動きが鈍くなるのが普通だが、佐野選手は『自由だ』と感じる。アイシェードをすれば、『見えていない状況は、みんな平等だから』。練習では熱のこもったイメージトレーニングをこれでもかと言うほど重ねて、空間を味方につけているようだ。『全身から大量の汗をかくのもいい。シャツもズボンもビショビショだけど、体も心もスッキリして嬉しい』
2017年のアジアユースが国際デビュー。2019年12月アジアパシフィック選手権大会に日本代表で出場し、3位に貢献した。



Q & A：佐野選手に聞いてみました！

2019年12月時点で94か国中、日本は11位。
東京パラリンピックの見どころは？

『欧米選手が大きな体から繰り出すバウンドの高さ、ボールの強さ。それに対抗する日本選手の巧みなフェイク(実際には投球しない選手がスローイング直前まで音を立て投手を装うなど)や相手の意表を突く速攻など』

目標は？

『日本代表のスタメンになること！』

音が頼りの競技。励ましの気持ちはどう表現したらいい？

『競技開始前やゴールが決まった直後に応援で元気をください。もちろん競技中は“quiet please(審判によるこのコールで競技が始まる)”』



佐野選手を支える

日本代表男子 江黒直樹ヘッドコーチ
(日本代表女子をゼロから育て、パラリンピックアテネ大会で銅メダル、ロンドン大会で金メダルに導いた)

「まだ若いので世界を体験して『自分のゴールボール』を見つけてほしい。まずは壊れない身体作り・土台をしっかり作り、大きく育ってほしい。この土台があってこそ、2020TOKYO大会につながる。そして2024パリ大会では、日本の主力メンバーとして大きく期待している。」

発行：一般社団法人 千葉県障がい者スポーツ協会

所在地：〒263-0016 千葉市稲毛区天台6-5-1

TEL：043-253-6111 E-Mail：csrcad@galaxy.ocn.ne.jp

FAX：043-253-9389 URL：<http://www.cpsa.or.jp/>

Paralympic Games パラリンピック競技紹介 Paralympic Games

ゴールボール

- ・3分のハーフタイムを挟み、前半と後半に2分ずつの対戦。
- ・視覚の障がいの差が影響しないよう、アイシェードの下にはアイパッチを貼る。
- ・中に鉛が入ったボールの大きさはバスケットボールとほぼ同じだが、重さは2倍。勢いよく当たった時の衝撃は大きい。
- ・ペナルティースローでは、3人の攻撃からゴールを守るのはたった1人なので、緊迫感が更に高まる。

詳しくは
「かんたん! ゴールボールガイド」
からどうぞ



https://www.jsad.or.jp/about/referenceroom_data/competition-guide_03.pdf

使用するコート・主なルール

コートの広さは、18m×9mで、6人制バレーのコートと同じ広さです。



正しい投球の例



©日本障がい者スポーツ協会

ラインの下の糸

ラインアウトラインを除くコート内のラインには、床との間に糸を通してその上からテープが貼られていて、凹凸があります。選手はこの凹凸の感触を頼りに自分の位置を確認しています。



チームエリア

オリエンテーションエリアとランディングエリアを合わせたエリアで、このエリア内で投球も守備も行わなければなりません

ペナルティースロー

ペナルティースローでは、反則を犯してしまったチームがたった一人しか守備に入れない状態で、相手チームが投球機会が与えられます。攻撃側には得点のビッグチャンスで、ゴールボールにおいては、勝敗の行方を左右するほど重要なルールです。

©日本障がい者スポーツ協会

令和元年度 千葉県障害者スポーツ大会 9月13日以降開催分



9月13日、14日ソフトボール競技(知的)
18チームの参加があり、優勝は1部が『とま
りぎソフトボールクラブ』2部が『オリーブハ
ウス』3部は『チャレンジ国分』



10月3日フライングディスク(身体・知的)
選手492人の参加があり、ディスタンス立位
1位は男子では65.29m、女子では37.25m
と好記録でした



11月17日バスケットボール競技(知的)
10チームの参加があり、優勝は男子が『サンパー
クス』女子が『さくら分校』



11月23日バレーボール競技(知的)
5チームの参加があり、優勝は男子が『夷隅Aチーム』女子が『ア
クアチーム』



12月1日サッカー競技(知的)
8チームの参加があり、優勝はカテ
ゴリーAが『アリアーレ』カテゴリー
Bが『しいの木』



12月12日ソフトバレーボール競
技(精神)9チームの参加があり、
優勝は『一休スターズ』



12月14日バレーボール競技(聴
覚)2チームの参加があり、優勝は
『千葉県聴覚障害者協会チーム』

9月13日以降、団体競技6、個人競技1つを開催しました。結果については当協会のホームページでご覧いただけます。
なお、5月26日に開催しました陸上競技をはじめ、水泳、ボウリング、アーチェリー、サウンドテーブルテニス、卓球の様子も、同じくホームページに掲載のパラスポーツちば Vol.9 でご覧いただけます。

第46回手をつなぐスポーツのつどい

令和元年9月26日（木）「第46回手をつなぐスポーツのつどい」を千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催しました。88団体2,184人の参加者と、272人のスタッフやボランティアがつどい、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場は笑顔と歓声が溢れました。



手をつなぐスポーツのつどい絵画展

『手をつなぐスポーツのつどい』の一環として、県内に居住する知的障がいの方に対し、スポーツをテーマとした絵画を募集し、今年応募のあった75作品をそぞう千葉店地階ギャラリーに展示しました。

優秀作品については、『第46回手をつなぐスポーツのつどい』において、表彰を行いました。



デリバリー講座

学校や施設企業等、県内各所にて開催される講演や研修会、イベントに障がい者スポーツの専門性のある講師を派遣します。

千葉県立千葉特別支援学校夏季研修の様子



【参加者の感想】

- ペガーボールを体験したのは初めてでしたが、汎用性が高いスポーツですぐ実践に取り入れることができますと感じました。
- 実技、グループワークと、とても楽しく勉強になりました。新しいスポーツを知ることができ良かったです。
- ボールを付けたり、はがしたりする感覚がよくて様々な場面で活用できそうだと思いました。

千葉中央看護専門学校パラアスリート講演の様子



車いすラグビー官野一彦選手を講師に招き講演。将来看護師を目指す学生から、障がいのある人の生の声を聞き、看護観に影響を受けたとの感想が非常に多かった。

令和元年度実績

- ・千葉県立千葉特別支援学校
- ・千葉県総合教育センター
- ・千葉市立都賀の台小学校
- ・千葉中央看護専門学校
- ・千草台公民館
- ・八千代市立高津小学校
- ・鎌ヶ谷市西部地区社会福祉協議会
- ・松戸市立六実第三小学校



delivery

第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」



第19回全国障害者スポーツ大会
いきいき茨城ゆめ大会2019
翔べ 羽ばたけ そして未来へ
(許可番号 茨城国体承認第1-254号)

10月12日～14日、茨城県で開催される予定であった第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」は、台風19号の接近に伴う影響を考慮し、全日程中止となりました。平成13年に大会が始まってから初めてのことです。

予選会となる『千葉県障害者スポーツ大会』や『関東ブロック大会』を勝ち上がってきました選手達は、監督やコーチと全国大会でのベストパフォーマンスを目標に、夏の酷暑に耐えて練習を重ねてきました。非常に残念なことになりましたが、千葉県選手団の一員であったことを誇りに、また、様々な困難を乗り越えたことを糧にして、更なる活躍を期待しています。

今大会の派遣に当たり、ご協力、応援いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、災害に見舞われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

(公財) 日本障がい者スポーツ協会公認 令和元年度 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(2回目)を開催しました

会期：令和元年12月7日、8日、14日、15日

会場：国際武道大学（勝浦市）

この講習会は、障がいの基本的内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、地域の障がい者スポーツの振興を支える指導員の養成を目指しています。

33名の修了者の皆さんには、障がいの特性に応じたサポートで健康や安全管理に配慮しながら、スポーツの喜びや楽しさを伝えてくださいました。



『ボランティア論』

「人はなぜボランティアをするのか」を紐解き、また、ボランティアの現場を想定したクロスロード「あなたならどうする」を実施。自発的な思いと、どう思われるかで揺れる発言もある中、ブレインストーミングで得られたアイデアをKJ法で理論的に整理し、問題解決の道筋を明らかにする手法を学んだ。グループワークも活発で、インプットとアウトプットの多い座学であった。



『障がいの理解とスポーツ④(精神)』

精神障がいのある方たちを取り巻く環境、過去の歴史から見る過ち、また、統合失調症の具体例など、障がいそのものの理解を深めた。更にスポーツの治療的要素（疾患の再発や生活習慣病の防止）、リハビリ的要素（体力や対人関係の改善）、社会的要素（疾患の理解促進、偏見の軽減、QOLの向上）を確認し、地域スポーツ等に参加しやすい環境をつくることの大切さを学んだ。

令和元年度 障がい者スポーツ指導者研修会

令和2年2月16日（日） 障がい者スポーツ指導者の資質の向上を目指し、障がい者スポーツ指導者研修会を開催しました。

今年度は17名の参加者が、千葉県総合スポーツセンタースポーツ科学センター多目的アリーナで『全国障害者スポーツ大会 ボッチャ競技規則』の講義と『審判』の実技研修を行いました。

来年開催される全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」より、ボッチャ競技が正式競技に加わります。大会独自のルールがあるため、県内のボッチャ競技に係る指導者に千葉県予選会の実施方法や選手選考について説明をしました。



日本のボッチャを牽引する選手がいる千葉県で、ボッチャの普及や競技会の運営を担ってきた宮坂講師（写真右側）



障がい者スポーツ指導員に、基本の確認や、全国障害者スポーツ大会における注意点の説明がありました

障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業について 令和元年度

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催年となりました。2年目を迎えた本事業は、5福祉圏域のなかの1市町村を指定し、障がいのある方が地域でスポーツに親しめる環境を拡充するための取り組みを推進しました。障がい者スポーツの主体的な取り組みに向けて、地域の大学やクラブチーム等とのネットワークを活用し各事業を展開しました。5市の主要な取り組みは以下のとおりです。

野田市 「福祉のまちづくりフェスティバルパラスポーツ体験会」

・令和元年11月16日（土）・野田市勤労青少年ホーム体育館



「福祉のまちづくりフェスティバル」で、ボッチャやフライングディスクを中心としたパラスポーツ体験会を開催しました。参加される方々の年齢や運動経験等に配慮しながら、運営スタッフが工夫を凝らし、競技体験内容を用意することで、心地よい身体を動かす空間を創出することができました。競技スポーツの前段階を経験したい幼児には、パラバールーンを活用し「皆で活動する楽しさ」を味わうことができました。

我孫子市 「三世代の参加もOK! 家族で楽しむ♪アートヨガとホールあそび」

・令和2年1月18日（土）・千葉県立湖北特別支援学校



アートヨガは現代人のために考案された新しいヨガ体系です。「褒められることの大切さが大切」との説明があり、講師と参加者の間には、称賛と笑顔によるコミュニケーションが溢れました。広いアリーナでは、ボッチャ・フライングディスク・ペガーボール・お手玉等を活用し、参加者が思い思いに身体を動かし、笑顔があふれる活動となりました。運営者が参加者の気持ちに沿った活動内容を工夫していました。

柏市 「体を使って楽しもう！スポレクタイム」

・令和元年12月1日（日）・千葉県立柏の葉公園コミュニティ体育館



「障がいの有無に関わらずスポーツを楽しむこと」を目的として、千葉障がい者スポーツ指導者協議会・柏市スポーツ推進委員が中心となり、パラスポーツの体験会を実施しました。ボッチャ・フライングディスク・ペガーボール・車いす体験等あらかじめ準備したパラスポーツ体験に加え、参加者の状況にあわせて活動内容を工夫するということが印象的でした。

旭市 「パラスポーツ体験会」

・令和元年11月3日（日・祝）・旭市総合体育館



参加者の状況にあわせてレクリエーションボッチャとフライングディスク競技アキュラシーを中心に体験会を設定しました。共に競技体験ができるように準備しました。楽しく体験するということを目的として、ボッチャ競技では八角的を活用したゲーム、フライングディスクではアキュラシーゴールの前にペットボトルを置いて、的として活用したりするレクリエーション的な要素も組み入れました。親子で楽しむ様子も見受けられました。

習志野市 「心が通うまちづくり条例における体験講座」

・令和元年9月7日（土）・習志野市 東部体育館



車いすバスケットボールチーム「千葉ホークス」メンバーによるトークショーと競技用の車いす操作体験を行いました。車いすの操作とバスケットボールの難しさや楽しさを味わうことが出来ました。Bリーグ「千葉ジェッツ」アカデミースタッフによる体験教室では、理論に基づいた練習体験メニューによりトレーニングが展開されました。子どもから大人まで専門性の高い講師による体験会を楽しみました。

年齢や性別に
関係なく地域
での活動を樂
しみました。

各市でたくさん
の行事が開催
出来ました。



障がいのあるなしに関わらず、パラスポーツに取り組むことを通して、豊かなコミュニケーションと心地よい身体活動を経験してみませんか。令和2年度の取り組みにもご期待ください。

千葉県障害者スポーツ競技団体支援事業

当協会では千葉県の補助を受け、競技団体と連携して、多くの方が競技に触れることができる体験会を開催しています。

やってみたら
楽しかった！

令和元年度競技団体が実施した体験会の一例



2019/4/20 馬術



2019/8/21 陸上競技（知的障がい）



2019/11/10 アーチェリー



2019/12/8 卓球



2019/12/21 車いすバスケットボール



2020/1/19 シッティングバレーボール

ここに掲載した以外にも、射撃、サッカー、水泳、テコンドー、トライアスロン、パワーリフティング、バドミントン、サウンドテーブルテニス、グランドソフトボール、陸上競技（身体障がい）、バレーボール（知的障がい）、フライングディスクを実施しました（3月21日にはボッチャを開催予定）。

令和2年度開催予定競技

アーチェリー	卓球
陸上競技（身体障がい）	トライアスロン
陸上競技（知的障がい）	シッティングバレーボール
バドミントン	車いすバスケットボール
ボッチャ	サウンドテーブルテニス
カヌー	フライングディスク
馬術	グランドソフトボール
水泳	バレーボール（知的障がい）
パワーリフティング	バレーボール（精神障がい）
射撃	サッカー（知的障がい）
5人制サッカー（ブラインドサッカー）	



燃え上れ！盛り上れ!!
CHIBA
スポーツ応援団



→QRコードはちら

実施済み体験会の様子も、今後の予定も、詳細は当協会のホームページ<http://www.cpsa.or.jp/participation/>からどうぞ

平成31年・令和元年千葉県障がい者スポーツ協会表彰

千葉県の障がい者スポーツの振興に多大な貢献をされた方や、障がい者スポーツ大会で優秀な成績をおさめられた選手を表彰する平成31年・令和元年一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会表彰が下記のとおり決定いたしました。
受賞者の皆様、おめでとうございます。



障がい者スポーツ功労賞

千葉県の障がい者スポーツの普及・発展に、長年にわたり尽力した方や団体に、その功労を称え授与する賞です。

門脇 倭雄



千葉県PRマスコットキャラクター
チーバくん
(千葉県許諾 第A39-43号)



優秀スポーツ選手表彰 特別賞

優秀スポーツ選手表彰を3回受賞した選手、または団体に、その功績を称え授与する賞です。

眞次 駿英 (陸上競技)

国枝 慎吾 (車いすテニス)

松本 春菜 (陸上競技)

杉野 明子 (バドミントン)

米澤 諒 (陸上競技)

土子 大輔 (車いすバスケットボール)

竹守 彪 (卓球)

千葉パイレーツ
(シッティングバレーボール)



優秀スポーツ選手賞

平成31年1月から令和元年12月までに開催された、障がい者スポーツ競技の国内大会及び国際大会で、優秀な成績をおさめられた選手、または団体に、その功績を称え授与する賞です。

岩田 悠希 (陸上競技)

廣瀬 隆喜 (ボッチャ)

岸田 悠弥 (陸上競技)

齋田 悟司 (車いすテニス)

齋藤 太一 (陸上競技)

高野 健一 (立位テニス)

宮城 美月 (陸上競技)

里見 紗李奈 (バドミントン)

榎戸 香奈 (水泳)

豊田 まみ子 (バドミントン)

田中 康大 (水泳)

花澤 杏奈 (バドミントン)

中島 啓智 (水泳)

村山 浩 (バドミントン)

西浦 大貴 (水泳)

山田 麻美 (バドミントン)

長谷川 貴大 (アーチェリー)

田中 佳子 (アルペンスキー)

木川田 優大 (卓球)

今井 友明 (車いすラグビー)

竹内 望 (卓球)

令和2年度 主要事業の予定

令和2年3月3日現在

期日(曜日)	行事名	会場
5/2(土), 3(日)	第20回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会サッカー競技	総合スポーツセンター サッカー・ラグビー場
5/15(金)	千葉県障害者スポーツ大会：参加団体代表者会議	総合スポーツセンター スポーツ科学センター
5/23(土)	千葉県障害者スポーツ大会：アーチェリー競技＜身体＞の部	船橋アーチェリーレンジ
5/31(日)	千葉県障害者スポーツ大会：開会式・陸上競技の部＜身体＞＜知的＞＜内部＞の部 千葉県障害者スポーツ大会：水泳競技＜身体＞＜知的＞の部	ゼットエーオリプリスタジアム 国際総合水泳場
6/6(土)	千葉県障害者スポーツ大会：サウンドテーブルテニス競技＜視覚＞の部	障害者スポーツ・レクリエーションセンター
6/7(日)	千葉県障害者スポーツ大会：卓球競技＜身体＞＜知的＞＜精神＞の部 千葉県障害者スポーツ大会：ボウリング競技＜知的＞の部	千葉公園スポーツ施設 体育館 VEGA アサヒボウリングセンター
6/11(木)	第20回全国障害者スポーツ大会 千葉県代表選手選考委員会	障害者スポーツ・レクリエーションセンター
6/28(日)	千葉県障害者スポーツ大会：フットベースボール競技＜知的＞の部	千葉市磯辺スポーツセンター 多目的グラウンド
9/11(金), 12(土)	千葉県障害者スポーツ大会：ソフトボール競技＜知的＞の部	成田市中台運動公園野球場ほか
9/26(土)	千葉県障害者スポーツ大会：ボッチャ競技＜肢体＞の部	浦安市運動公園総合体育館 メインアリーナ
10/1(木)	第47回手をつなぐスポーツのつどい	総合スポーツセンター 陸上競技場
10/3(土)	千葉県障害者スポーツ大会：ボッチャ競技＜肢体＞の部	障害者スポーツ・レクリエーションセンター
10/8(木)	千葉県障害者スポーツ大会：フライングディスク競技＜身体＞＜知的＞＜内部＞の部	総合スポーツセンター 陸上競技場
10/22(木)～27(火)	第20回全国障害者スポーツ大会 「燃ゆる感動かごしま大会」派遣	鹿児島県
11/15(日)	千葉県障害者スポーツ大会：サッカー競技＜知的＞の部	市原スパレクパーク
11/22(日)	千葉県障害者スポーツ大会：バレーボール競技＜知的＞の部	千葉公園スポーツ施設 体育館
11/23(月祝)	千葉県障害者スポーツ大会：バスケットボール競技＜知的＞の部	千葉ポートアリーナ
12/10(木)	千葉県障害者スポーツ大会：ソフトバレーボール競技＜精神＞の部	千葉ポートアリーナ
12/12(土)	千葉県障害者スポーツ大会：バレーボール競技＜聴覚＞の部	千葉公園スポーツ施設 体育館
2021. 1/7(木)	令和3年度千葉県障害者スポーツ大会 参加予定団体説明会	総合スポーツセンター スポーツ科学センター
1/16(土), 17(日)	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 第1・2日目	総合スポーツセンター スポーツ科学センター
1/23(土), 24(日)	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 第3・4日目	総合スポーツセンター スポーツ科学センター

*上記は予定であり変更・追加することがあります。

賛助会員募集

本協会は、様々な障がい者スポーツ大会の開催や、デリバリー講座（障がい者スポーツ等の紹介・体験）、スポーツ指導員の養成、情報提供、競技団体への支援を行っています。

本協会の活動を拡充するため、多くの皆様のご支援を必要としています。本協会を支える賛助会員へのご加入、ご寄付をお願い申し上げます。

なお、賛助会員になられた方には、本協会の会報「パラスポーツちば」などをお送りします。

【賛助会費】

(個人・団体・法人) 1口 2,000円 (年額)

【申込み・問合せ先】

一般社団法人 千葉県障がい者スポーツ協会
〒263-0016 千葉県千葉市稻毛区天台6-5-1
TEL: 043-253-6111 FAX: 043-253-9389